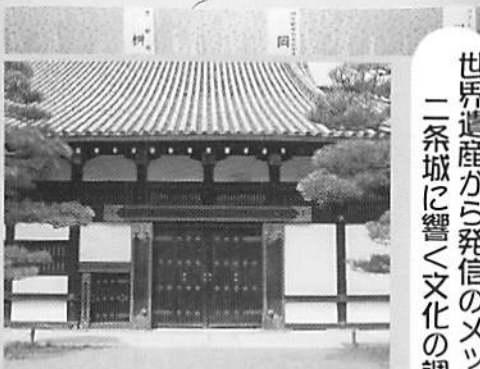


「サクレッドリズム」とは「聖なるリズム」という意味を持つ。世界各国のミュージシャンが国産や言葉の違いを超えて共演することにより、リズムを中心とした音楽を通して、友情と平和のメッセージを発信すること。写真は実行委員の各氏が揃った記者会見

INFORMATION

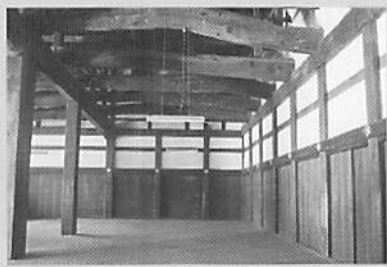


世界遺産から発信のメッセージ
二条城に響く文化の調べ

来年築城400年を迎える二条城。国宝や重要文化財の指定はもちろん、'95年には世界遺産としても登録されて、京都が誇る建造物のひとつだ。これは皆さんご存じ？ 400年記念の前年の今年、10月にはイベントとして音楽イベントが開催されることになったんだって。世界の共通語とも言える「音楽」を通して、「友情」をテーマに平和の尊さや世界遺産や文化財の大切さを伝えるこのイベントの舞台となるのは、これまで公開されていなかった、二条城・台所。かつては料理が行われていたこの場所に、世界8カ国からミュージシャンを招き、メッセージを全世界へと発信。興味深いモノになることは間違いないから、記念イベントの目撃者になるっていうのも、秋の過ごし方のヒトツじゃない？



毎回行きたい！ 門脇由佳 / 学生



創建後300年以上を経過した木造建築の武家住宅遺構の、二条城・台所。通常は一般公開されていない内部を見ることが出来るのも、魅力

開催日	開催時間	
10月11日(金)	19:00~21:00	1350万年の「音」伝説
12日(土)	15:30~17:30	古代からテクノ・永遠の回廊——パート1
	19:00~21:00	和の響・オーロラと舞う
13日(日)	14:00~16:00	ラガ&ヴィク「神秘の出会い」
	18:00~20:00	古代からテクノ・永遠の回廊——パート2
18日(金)	19:00~21:00	アフガン・USA——友情のリズム
19日(土)	15:30~17:30	東洋の技——「打」
	19:00~21:00	アイリッシュ・ダンスミュージックの真髄
20日(日)	14:00~16:00	西の風、東の空に歌う
	18:00~20:00	「リズム」は国境を越えて ファイナルコンサート

店員は各回250名、料金は各5000円

問い合わせ先

●「サクレッドリズム 京都 二条城」実行委員会

京都市文化市民局 文化部文化課 ☎075・211・0318

PROFILE 1998年、京都生まれの毒身リターンサーファーで企業キャラクター、弊社編集員をしつつ、日食ペンネームにて町を徘徊しては、下世話ネタをあさっている。特技：若くしり
http://www.m21.or.jp/fame/aikuru

40

MOVIX

ヒッココブラザーズ「ピコ」



920mm



誕生日： 1998年12月18日にキャラ完成。「MOVIX Club CARD 1周年&10万人突破！サンクスキャンペーン」の一環でヒッココブラザーズの名を一発公募、応募総数34000通の中から命名される。

生みの親： 村松直之氏（東京造形大学 版画専攻卒業、大成建設でのCG映像制作を経てゼガエンタープライゼス社、ジョイポリスのアトラクションの開発に携わる）

総高・全長： 長男ピコ 180cmのやせ型緑色・22才
次男ピコ 163cmの丸顔中青色・20才
三男ピコ 150cmの小太りおちひちゃんオレンジ色・16才

役割： MOVIX（松竹マルチプレックスシアターズ系、京都のみね松竹直営館）の劇場に馴染みを持ってもらい、ヒッココブラザーズと可愛がってもらえるようにして他の映画館と差別化を図ること。加えて劇場内の地味委員

性格： 長男=いつもものんびりおっとりやさん
次男=おちひちゃんよの自立ちたがり屋さん
三男=沈黙冷静はしっかり者



おいらの大好きな「オースティン・パワーズ」は「ゴールドメンバー」の先行ロードショーを浮かれ調子で観に行った時の、ちょっとくらの間のお話。ぬあん映画館MOVIXにオリジナルキャラが存在しておるとは、こいつはおいらが甘かった！ 売店でコーラでも買おうかと思ったその瞬間、ショーケースの中で得体のしれない物体が行列する光景を目にしたからさあ大変。よくよく見るとどうやらおいつは、おとぼけ顔のへんてこなブルーのかば君！

お姉さんに聞くと、何でも「ヒッココカップ」というものらしく、コココーラとのタイアップにより開発されたスーベニアカップだということのごさる。「個数限定、次回よりカップを持って来場すればドリンク（Lサイズ）が50円割引！」という誘い文句も手伝ってか、すかさず購入ししまったという訳。いざお目当てのシアターへと階下へエスカレーターで向うや、道中の注目度は120%！ ヒッココカップを後生大事に抱えて歩くおいら

のそのおまぬけ姿は、さぞかしシャガデリック、イエーイだったにちがいない。シートピッチのゆったりとしたシネコンサイズのお椅子ちゃんにゆっくり腰を降ろして、本編を今か今かと待ち受けておったその瞬間、あざとく予告に思わせていきなりスクリーンに現れしその姿こそ、その名も、ヒッココブラザーズだったのでありませう。コンピュータグラフィックスの動きも軽やかに、劇場内にありがちな携帯電話やゴミのポイ捨てなど迷惑千万な行為を平気で行う次男のピコに、おっとり長男ピコとしっかり三男ピコが注意を促すといった、僅か1分足らずのポリシーシネマであったのだが、いやはや、実はこの短編こそが隠された名作だったのであります。ポップコーンやドリンクカップの絵柄など売店のアイテムに次々とラインナップされ始めたこのキャラは、すでにファミリー層を中心にファンを増殖させているらしく、この手のアイテムにオタクな御仁はとにかく要チェックですぞ〜！

自称「思い込みが激し過ぎるライター」中尾が、箸にも棒にもかからない謎や疑問を勝手に解明。信じるのはケケンです！



探偵ライトスクープ

突然だが、NHKスペシャル「驚異の小宇宙・人体」が大好きだ。ヒトのカラダはプラボーに満ちている。ムダな部位など一つもない。だが、しかし！ 一つだけ解せない部位がある。それは首の後で隆起した肉塊。小林亜星氏を総帥として、ややぼっちゃり気味の男性のみがもつアイテムだ。なぜココに、なんのために…。みなさんも一度は考えたことがあるだろう。あれは、旅先で重宝する空気枕か？ それとも事故を想定したエアバッグ？ なんにせよ、きっと便利なモノに違いない。言わば、これは進化の証。NHKもとっくに気づいているはずだ。